

長年の釜焚き製法の石鹼、 自社ブランドも

- 納期相談
- 企画力自信有
- メイドインジャパン
- 試作可小ロット
- 量産対応



純石鹼をつくる伝統の釜焚き製法

業務内容 伝統を守り、安全性と 職人技の品質を磨く

家庭用、業務用の洗剤の製造販売を手がけている。主力の家庭用は生協ルートのOEM（相手先ブランド生産）商品が中心で、安全性と効果のバランスの評価を得て、取引を着実に伸ばしている。業務用はバレル研磨用として、金属部品についての油分の洗浄や、金属の表面処理、部品同士の摩擦軽減に使われる。このほかオフィスクリーニング会社向けの専用洗剤も手がける。

洗剤のもとになるのが純石鹼で、古くからの釜焚き製法による社内製造を現在まで継承している。釜焚きによる純石鹼を配合した安全性と職人技の品質を売り物に、最近では一般消費者向けの自社ブランド商品も送り出している。

強み 業務用の研磨剤も きめ細かくニーズ対応

輸入の半製品から作る同業他社の石鹼とは一線を画し、国内では稀少になった釜焚き製法の純石鹼を使い、職人技によるなめらかな触感の製品づくりにこだわる。家庭用は各種の界面活性剤、薬剤に関するノウハウがあり、化粧品ではなく、洗剤として勝負している。業務用のコンパウンドも20年来の実績で、金属の種類、大きさ、仕上げの要求にきめ細かく対応する。

大手メーカーにはない小回りの良さと、新商品の開発に取り組み、「開発、製造、営業の連携はスピード感がある」と木村祥一郎社長は自負する。アルカリの浴場洗剤、洗浄便座のノズルクリーナーなどは代表的なヒット商品。

人材育成 4月は親孝行強化月間、 5年ごとに作文集

親孝行できる社員をつくる全社的運動に16年間、取り組んでいる。毎年4月は社内

定める親孝行強化月間で、会社から1万円を親孝行費の名目で支給する。このほか毎月1回外部講師を招いて親孝行に関連した話を聞く機会を設けている。5年に1回、親孝行に関する作文を全社員が提出し、外部講師の審査評価をつけた上で、文集として製本する。

この取り組みは、かつて病に倒れた父親の介護と社業との両立に苦勞した先代社長の木村幸夫氏が、外部アドバイザーをきっかけに、思い切って介護に専念し、残った幹部社員らに経営を任せて急場を乗り切り、業績を好転させた経験で始めたという。

後の展望 化粧品分野進出も視野に 自社ブランドを育成、

木村社長はIT会社の共同創業者として活躍してきたが、平成25年から家業の経営に関わり、同年9月に社長に就任した。平成30年までの中期5カ年計画で、売上高10億円、営業利益率10%の目標を掲げる。平成27年から家庭用の自社商品を「SOMALI（そまり）」、「Rekor（りころ）」などのブランドで販売。雑貨やインテリアショップの店頭と、インターネット販売で拡大を進めている。年商の60%強を占める家庭用のうち、自社ブランド品の割合を30%に伸ばす計画。

現在の本社工場は手狭になり、新工場の構想とともに化粧品分野への進出を準備中だ。



自社ブランド商品の「SOMALI（そまり）」



釜焚き職人の技が差別化のカギ

当社の歴史



初代の木村熊治郎が大阪市内で設立し、太平洋戦争による中断をはさみ昭和29年に再開しました。昭和43年、先代の木村幸夫がアルカリ性の浴場用洗剤「エアポール」を開発し、当時主流の酸性石鹼に代えて全国に普及しました。それを応用した家庭用浴槽洗剤は今に続くロングセラーです。

代表取締役社長 **木村 祥一郎さん**

<http://www.kimurasoap.co.jp/>

主な事業内容

家庭用洗剤の製造販売、バレル研磨用コンパウンドの製造販売

主な取引先(納入先)

大手問屋、自動車メーカー、化学系商社、家庭用雑貨の企画開発会社、化学品メーカー

- 住所 〒581-0066 八尾市 北亀井町2-1-30
- TEL 072-994-7333
- FAX 072-993-7188
- 創業 大正13年4月
- 設立 昭和51年6月
- 資本金 2,900万円
- 従業員 35名